

# 県連ニュース

2020年 12月号 NO-521



『伊豆沼・内沼サンクチュアリ』

## 滋賀県勤労者山岳連盟

## 2020年12月号 目次

リレーエッセイ	
最大の楽しみ、そして喜びと夢……………	2
お知らせ	
雪山基礎講座・2021(2)……………	3
報告	
第2回 代表者会議録……………	4
登山祭典……………	10
・山友会(音羽山、西尾根コース)	
・比雪稜会(マキノ 寒風・大谷山)	
・ちごゆり山歩会(比良・鳥谷山)	
・彷徨倶楽部(太郎坊～箕作山～船岡山)	
・シャクナゲ(朽木叫越～正座峰～早谷越)	
清掃登山	
彷徨倶楽部(雪野山)……………	16
秋の清掃登山報告……………	17
ステップアップ比良(比良山系・釣瓶岳) ……	19
近畿ブロック代表者会報告……………	20
ぐうたら会長のつぶやき……………	23
行事予定表……………	25

表紙の写真：『伊豆沼・内沼サンクチュアリ』

撮影者 ちごゆり山歩会 濱本健二 氏

私は今 64 歳。健康のために、週に数回 10 km 前後のジョギングをしている。50 歳前から始めて、市民マラソンにも出ていた頃もあった。今は決して早く走ろうとはせず、気持ちの良い汗をかき、出来れば体の内部に良いようにと続けているつもりだ。春の時期の花粉症が辛い。毎年 2 月頃から 4 月頃までクシャミ、眼の痒さ、鼻つまりなどに悩まされる。勿論耳鼻科医に掛かり、薬のお世話にもなっている。ジョギングはこの時期のかかなりの期間を休まざるを得ない。外で沢山の空気を吸うことで花粉症を更に悪化させるからだ。5 月頃、花粉症の症状がだんだん治まり、またジョギングを始める時期に。50 歳代では分からなかったのだが、60 歳を過ぎる頃から特に何もせずに数ヶ月休んだことにより、夏が終わる頃までその体力がなかなか戻らないことが分かってきた。まさしく加齢の仕業だ。このことが分かってから、風呂に入ったときにスクワットや、かかと上げ運動などすることを自分に課している。そのことにより、随分軽く走れるようになり 4 年前ぐらいの体力まで戻すことができています。体力をまだまだ維持し、大きくなった孫と走れる喜びと楽しみのために頑張っていくつもりだ。

結婚した娘からの“吉報”は 5 年間聞くことができなかった。本人たちも随分と思い悩んだことだろう。勿論決してそのことは口には出していないのだが。そうして今年の夏、5 年間の時を経てとうとうその吉報が届いた。予定日は 11 月 3 日祝日ということで、尚更その祝日の日を願った。座敷の神棚に「どうか健康な子を授かれますように。母子共に安全なお産でありますように」と拝む毎日。予定日の 3 日にお腹が痛くなってきたと早朝病院に親子 4 人で出掛けた。まだその様子がないと一旦帰宅するが、夕方再度病院に。今度は破水していたと入院することに。いよいよ 11 月 3 日祝日の誕生かと思いきや、結局母子共に、長時間の腹痛にも耐え頑張り、11 月 5 日の誕生となった。誕生日の日付などどうでもよい。とにかく母子共に問題なく、我が孫は元気に生まれてきてくれた！この私にとっての初めての孫は、自分の子の時よりも何倍も喜びと感動を感じさせてくれ、思わずうれしさと感動の涙を流すことに。人の命の深いつながりを強烈に感じる。早く大きくなってくれ。その歳まで、ジョギングや登山で鍛えておくから、このお爺ちゃんと一緒にジョギングをしよう！これが今の私の最大の楽しみであり、喜びであり、夢でもあるのです。 合掌

# 雪山を楽しもう！

--- 雪山基礎講座 2021（第2報） ---

この講座は、経験はないけれど雪山に登ってみたい、あるいは少し経験はあるがもっといろいろな雪山に登ってみたい、そんなひとを対象にしています。

雪山の山頂に立ち自らが刻んだトレールを振り返るとき、その達成感はどうな言葉をもっても言い尽くせません。でも、雪山は危険もいっぱい。実戦的な技術と知識を学んで安全に雪山を楽しみましょう。

「わくわくする山」を目指して、いざ、白銀の世界へ。

## ■ 日 程：2020年12月～2021年5月

- ・山行を通じて雪山登山に必要な知識と基礎的な技術を実践的に学びます。連続して受講して頂くのが理想的ですが、毎回独立した内容なので都合のよい日程の講座のみの受講も歓迎します。
- ・12月1日（火）のONLINE（LINE）でのオリエンテーションで、講座の概要説明、日程調整および装備確認を行います。

## ■ 山 域：2021年度は八ヶ岳権現岳、中央アルプス木曾駒ヶ岳山、南アルプス仙丈ヶ岳、北アルプス鹿島槍ヶ岳などを予定しています。受講生の希望も考慮して山域を最終決定します。

## ■ 講 師：秋田誠（彷徨倶楽部、日体協登山上級指導員）クライミング研究会々員 および外部講師

## ■ 主な講習内容：

1. 雪上歩行（キックステップ、アイゼン、ワカン、スノーシュー）
2. ピッケルワーク（ピオレトラクション、耐風姿勢、滑落停止）
3. 雪上ロープワーク（固定ロープ通過、スタンディング・アックスビレー、懸垂下降）

## ■ 募集人数：8名程度

## ■ 受講料：各回2,000円、申込金不要。山行の交通費、食費などが別途必要です。

## ■ 申込み（問合せ）と申込み期限：

090-3727-3721（秋田）またはメール  
dekameno@gmail.com ショートメールも可。

期限 11月30日（月）



雪洞訓練、奥美濃・大日ヶ岳



北アルプス・爺ヶ岳東尾根

## 2020年度 第2回代表者会議 議事録

日時 2020年11月4日 (水) 午後7時～8時30分  
会場 明日都浜大津 中会議室  
出席者 山友会・金原事務局長 雪稜会・西村会長 岳友会・北村会長  
彷徨・谷内代表者 シャクナゲ・太田会長  
理事出席 友永・中島・高玉・古川・今村・田中・藤関・渡壁・宮内(司会進行)  
欠席 ちごゆり・柴田会長 理事 山元・平山・池田

短時間で会議進行するため事前に議題についての意見を求めた。意見集約したものを資料として、事前に配信した。議題1～6で意見が分かれたもの

議題1 救助隊の存続について

議題6 その他・要望・意見等 を集中的に話し合った。

その他の議題については、概ね問題ないと判断し、結論をまとめた。

議題についての意見と会議での意見を以下に議事録としてまとめた。

議題 1 救助隊の存続について

救助隊としての活動は、ここ何年もしていない状態である。

救助隊という名前はなくし、事故があった場合、教育遭難対策部が窓口とし、各会連絡窓口1名を決めてもらうという案ではどうか

彷徨谷内) 県連として救助隊は活動を再開し、可能な範囲で行ってはどうでしょうか。

事故が起こった場合、連盟としての対応は限定されますが連絡窓口だけでは県連としての役割は果たせず全く対応できないと思います。救助隊などレスキュー技術の継承は山岳会の存続と発展について欠かせないと考えます。

シャクナゲ太田) 窓口は、代表者でも良いので必要ないと思います。

ただ、定期的な訓練が必要で、訓練されていない人は、實際上また責任上使えないと思う。

岳友会北村) この案でよいとおもいます。以前に救助隊が中心となった講演会を教育遭対部で計画したらよいとおもいます。

比良雪西村) 実態及び県連の体力から、救助隊をなくす案に賛成。事故の際の各会への連絡は代表者でよいと思います。

ちごゆり柴田) ○「救助隊」は必要である。

- ・事故が発生した時、警察に救助要請をするが、現地等で警察等との打合せや警察の指示等により関係者への連絡等が必要となり、何人かを現地に派遣が必要になる。初動体制として所属会の会員があたらないければならないが、助言者として知識がある救助隊のメンバーが当たる必要がある。
- ・県連組織として、救助隊があると加盟山岳会にとって心強いものがあり、会員拡大を図っていく上でプラスとなる。

山友会(金原) 過去の救助隊の活動が具体的にどのようなようだったかを確認し、その中の要点をおさえる必要があると思います。「救助隊」という名前で各会から隊員を出すという形ではなく、レスキュー技術の学習、訓練の機会を作ること、事故の状況に応じて対応できる人を把握しておくことが必要ではないかと思います。

## 会議での発言

谷内・窓口の役割と、相互の連絡体制ということか。技術の継承は必要だ。

北村・文化として持っていることは大事だが、誰がするかだ

金原・現場の救助は、消防と警察に任せる。ハイキングコース程度なら各会でするのが良い。

古川・山友会の春の遭難事故は、県連内で共有していないので、県連とは無関係なのか

金原・計画書が未提出なものであった。協力できる範囲で捜索のお手伝いをした。

北村・現場に駆け付けるチームレスキューと連絡体制を区別して考える必要がある。

西村・救助隊組織はなくす。組織を残すとそれなりの体制が必要になる。

### まとめ

友永・現状は必要だが、救助隊の面倒を見る人がいない。救助隊の名称はなくす。

レスキュー講習会等を県連として発信する。協力体制を作り、情報を共有する。

「計画書の提出」を徹底周知に努める。

## 議題2 県連主催の年間行事について 今年度 交流山行・登山祭典

谷内) 何のために県連として行うのか。県連で主催する意義を明確にして実施するべき と思います。

太田) 交流山行3名、登山祭典4名の参加があり、コロナの流行の中、地道な活動になったと思う。

北村) 今年度は新型コロナの関係で岳友会は実施しませんでした、今年度計画された交流山行、登山祭典は実施したらよいと思います

西村)・交流山行は意義があったと思う。交流月間を1ヶ月としたが、来年度は2ヶ月間として実施日の重複を出来るだけ避けるようにしては。

- ・登山祭典については改めて目的・趣旨を周知再認識することが必要と思う。数年に一度位は集中登山を考えてはどうか。1ヶ所集中又は2～3ヶ所集中もよいので、祭典らしい登山・集まりになるのでは。

柴田) ○交流山行 県連行事でなくてもよいのでは？各会同士でやれば良い。

○登山祭典 加盟山岳会が一同に集まる機会がない中、県連の全会員が集り交流できる場を作ることが大事。(県連の役割)

そのことによって県連に加盟しているところを会員に観てもらい、理解を深めることができる。

金原) 交流山行は個々の会員同士の交流、情報交換の機会として有意義だったように思います。

## まとめ

宮内・理事会で検討して、次年度の事業計画案に生かします。

### 議題3 会員拡大の取り組みについて

谷内) 会とは別に県連としてHPや講習会等の実施を通じて会員を増やすようにしては。

太田) シャクナゲは、受け皿的にむずかしい

北村) 現在行っていること以外には思いつきません。

何が効果的かは、新入会員の入会のきっかけなどを調べたらどうでしょうか。

岳友会では、入会者よりも退会者が最近増えているのが問題です。

入会の勧誘よりも、会員にとって会の存在意義は何かを考えることも重要と思います。単に山に行くだけなら、最近では社会人山岳会に入らなくても、困らない人も多いとおもいます。

西村) ・まず会を知ってもらうきっかけとしてHPやペーパー(チラシ・会報誌)はとても重要なので、当会は両方共積極的に活用している。

・体験参加制度も設けており、1~2度例会山行に体験参加してから安心して入会される方がほとんど。

・公開山行(春の野点山行・登山祭典兼野点山行)及び清掃登山は重要活動と位置付け、一般の方に積極的に声掛けして多くの参加を得ており、その中から入会される方が多い。

・県連としては、今年の「山登りを始める人の講習会」のような企画を今後も取り組んでほしい。

山元理事) 県連及び各会のホームページを若い(感覚の)人が制作に関わり、充実(写真やイラストなどを多く取り入れ)を図り、より多くの人に魅力ある団体を目指すようにする。

柴田) 労山の目標は「登山を文化として広める」ことにある。

そのためには、一人でも多く会員になってもらい、会を活性化させなければならない。やり方として「公開山行」等オープンな山行を積極的に取り組み、多くのリピーターを作る(抱える)ことが求められる。

そうした地道な取り組みが会員拡大に結びつき、次代のリーダーが生まれ活性を図ることができる。※比良雪稜会のように。

県連は、今までのように「しおり」や「チラシ」の作成・配布、ホームページで案内する等、こうした取り組みをバックアップする。

金原) 入会体験山行と新入会員教室を定期的に行っていることをホームページなどでアピールすることがいいと思います

## まとめ

宮内・会員拡大に各会が工夫され努力されている。県連として協力できることはします。

### 議題4 県連事務所について

現在山友会と折半で月2万円の家賃、固定費を節約する意味もあるが、

大家さんが亡くなられた関係で資産整理されるかもしれないという事情がある。コロナが流行してからは、3月代表者会議（総会）以降は、事務所での会議は控えて、明日都浜大津の会議室かフリースペースを使っている。事務所ではないが、明日都浜大津内にある大津市民活動センター1Fフロア内にある「スモールオフィス」（机1と書類を入れるロッカー1がレンタルでき、月5600円）申請する予定、審査がある。装備等の備品は、県連で持つ必要があるかも検討して、各会、個人で引き取ってもらえるものは手放す。保管庫としてトランクルームも検討したが、検索ではヒットするものがなく、あきらめた。

谷内) 連盟事務所は維持費が必要なので装備等の保管は分散し、スモールオフィスと明日都の会議室で良いと考える。連盟の上納額も少なくできると思います。

北村) その方向でよいと思います。

他の県連などの機関誌は、ほとんど読んでいないので、廃棄してもよいと思います。県連の総会資料などは電子ファイルで残っているものはその形で（最近の総会資料は電子ファイルで残っています。）、どうしても紙ベースのものはトランクルームを検討すればどうでしょう。ネットでざっと調べると、瀬田で110×230×230、月1万円程度で借りられるようです。

山友会からの情報 スペースボックスレンタルサービス 唐崎蓮池事務所

コンテナ倉庫で、S1.5畳 230×230×110 月7560円+火災保険500円  
設置場所で料金が異なるとのこと

山元理事) 県連事務所を、明日都にする考えに賛成です。

場所が良く、交通の便が良いこと、費用も安く済む。備品等は関係者が引き取るなどして整理をしなくせば問題なし。

山友会・豊田) 明日都浜大津のフリースペースが借りられるのがベストと思います。

西村) その方向でよいと思います

柴田) あればベスト。

事故等が発生した時等、警察やマスコミ対応に対策本部の設置が必要となってくる。山友会の五竜岳遭難事故の救助活動で非常に助かった。

まとめ

宮内・県連事務所を今年度末で退去することにします。

議題5 理事会の回数減らす方向を検討 メール・ZOOM会議を活用する

理事の負担を減らすために、最低限必要な会議にする方向で検討している。

コロナ禍で8月休会であったがZOOM会議を試した。一応使えるのではないかという意見であった。

北村) 私もZOOMを十分に理解していませんが、使えるものであれば、活用すべきと思います。

西村) リアル会議を主にし、特に重要な議題が無いときはメールやズーム会議として少し回数を減らしてもよいと思います。



実際に顔を合わせ、生で意見を出し合い議論することは とても大事で必要な事 と思います。顔を合わせでしゃべることで、お互いの理解が深まり、信頼感・連帯感が生まれると思います。それで県連としての力が発揮できるのでは。

山元理事) 理事会は半年に 1 回程度のリアル会議、あとの各月は ZOOM・またはメールのやり取りでよいと思います。時間と費用の節減ができます。問題は一部の方が繋がらないところですが、そこは家族や会のメンバーに助成をいただくなど の工夫が必要ですが。

柴田) 今回のように、メールでやり取りすれば十分と思う。

まとめ

宮内・年 2 回の代表者会議は別として、理事会は、回数を減らす方向で検討します。

#### 議題 6 その他 要望・意見等あれば

太田) 交流山行は、勉強になることもあり、2 か月位前に山行計画を公表できるようにしたいと思う。

北村) 岳友会では最近退会者が増えていますが、会員以外との交流も多くて、技術レベルも一定以上の人も多くいます。

以前よりも山岳会に所属していなくても山に行ける人が多くなっており、今後もそのような傾向は強くなると思います。

すぐに結論の出る話ではありませんが、今後の山岳会の在り方について、ざっくりばらんな意見交換がしたいです。

西村) ・「県連ニュース」について、山行報告等で名前が記号だけだと全然面白くない。人手不足で県連ニュース原稿をそのままHPにアップするので、匿名原稿にして送ってくれとの事であるが、送る側が県連ニュース用原稿とHP用原稿の両方を作成して送れば、そんなに手間が変わらないのでは？ 当会では会報原稿を書く者が両方作成して送るようにしている。

補足説明)

現在、県連ニュース原稿は、比良雪のみイニシャル原稿です。

県連としては、各会配信用とHPアップ用は、作成していません。

山元理事) 若い年代の人を勧誘するために、例えば

- ・一般の部 (39 歳以下)
- ・シニアの部 (40 歳以上)

と、「部」を分けて募集すると、ひょっとすると 39 歳以下の方が入会してきやすいかもしれないという考え方です。

そうして各会の各活動では、各部で活動するときもあれば、両方の部合同で一緒に活動 を行うことも企画する。

柴田) 若い人の会を作ることが大事。高齢者ばかりの会に若い人はこない。

大学のワンゲル等に呼びかけるのも良いかと思う。

宮内) 交流山行は、県連主催以外にも、各会の山行を会員にオープンにして、スキルアップを図るようにするとよいと思う。会員拡大にも所属会以外の山行もオープンということのアピールしてはと思う。

## 会議での発言

北村・岳友会は、ここ4年間で27名退会、この1年で会員数10名減となっている。

比較的若い人の入れ替わりも多い。退会しても、単独山行・グループ山行は継続している人も多い。

金原・会としてできることは何か。新入会員教育は必要である。個々の技術のレベルアップできる体制があるかだと思う。

谷内・沢登り・岩登りの要求にこたえる必要がある。

## 議題以外で

### 1. 来年度の総会について

次年度総会（3/7）を予定している会場の県立スポーツ会館が、コロナの影響で、現在20名の制限がある。代議員と理事で50名近くになる総会の会場として使用できないかもしれない。会場を変更して 候補・明日都浜大津に予約できればよいが、出来ない場合は、代議員数の変更で対応することになると説明して理事会に一任してもらった。

### 2. 県連ニュースPDF配信について

古川機関紙部長から、県連ニュースPDF配信で問題ないかと確認。各会の上承を得る。次年度からも機関紙のPDF配信をする。

## 《登山祭典報告》

### 山友会音羽山(西尾根コース)

日時：2020年10月25日(日)

参加者：CL豊田 SL宮内 沼 金原 山田比 小森 明隅 中西 岡本和 岡本紀  
岳友会 渡壁芳房 渡壁由美子

行程：集合 京阪追分駅 8:00

追分駅 8:10→横石橋登山口 9:10→第一鉄塔 9:45→第二鉄塔 10:02→

音羽山頂上 10:30~11:10 昼休憩→BBC 分岐 11:40→JR 大津駅 13:10

今回の登山祭典は新型コロナウイルスを鑑みて各会単独での開催となった。

山友会のメンバーもトレーニングに励む音羽山、地元の方には牛尾山とよばれ親しまれている。

8:10 追分駅から住宅街を抜け横石橋登山口までは舗装された道路。新緑のモミジに気を取られ、

蛙岩を見逃してしまう。聴呪の滝、白扇の垂水、青龍の滝、古くより多くの和歌に詠まれている音羽の滝と右に左に足を止め、清流のせせらぎに耳を傾けながら川ぞいを歩く。

9:10 横石橋登山口に入り衣服調整をして小休憩、ここからは石がゴロゴロする山道を進む。



突然パンパンパンと銃声らしき音、先程しずく谷不動尊横を登って行った猟師のものか。

崩れた山肌を押し固めるように敷かれた鉄製の橋(?)に「重さ制限 150 kg」の看板があり、3人いける…いや2人だと声をかけあいながら崖淵を慎重に登る。随分と整備していただいたとは思いますが、まだまだ倒木があり台風の名残があちこちに。

9:45 第一鉄塔から 10:02 第二鉄塔まではゆるやかな坂道。

10:30 標高 593 m 音羽山頂上到着。マウンテンバイクのグループの青年に集合写真をお願いした。汗をかいた身体にあたる風は少し冷たく、上着を

はおり予定よりかなり早くに着いたが気にせず各自昼食をとる。お天気もよく琵琶湖も京都タワーもすっきりと見えた。



11:10 ゆっくりめの休憩を終え下山開始、遠目には白い紙が散らばっているように見える朴葉を踏みしめて BBC 分岐までゆるやかな道を下りる。時々急な場所もあるものの国道1号線に出るまで比較的歩きやすい。途中、この山道を初めて歩く女性と同行した。新しい仲間が増えるかな?

13:10 大津駅到着、解散

岡本紀(記録)



-2020 登山祭典-

マキノ 寒風・大谷山

日時：10月25日（日） 晴れ時々くもり

参加者：会員22名 一般11名 計33名

行程：近江今津駅出発（8：15）＝（貸し切りバス）＝マキノ高原駐車場着（8：40）・受付・準備体操後出発（8：50）～西山林道分岐（10：00）～展望台（10：15）～寒風（11：20）～大谷山着（12：00）～昼食後写真撮影（12：45）～石庭へ下山（15：00）～マキノピッグランド（15：30）＝（貸し切りバス）＝近江今津駅で解散（16：00）＝堅田駅前（17：30）

秋晴れの爽やかな気候でした。バスの車窓からでしたがメタセコイヤ並木はとても美しかったです。バス到着後、マキノ高原の駐車場からキャンプ場の横を通りゲレンデを登って行きます。7月末の色々自粛ムード満載の時に訪れた時には一組もいなかったキャンパー。秋の行楽シーズンになったこともあり満員でした。眩しい日差しの中ゲレンデを登って行くのが個人的にはこの日一番しんどい所でした。

西山林道出合から木陰道を上がり、展望ベンチで写真撮影休憩。山の上からメタセコイヤ並木を見下ろすというのはとても新鮮でした。



ブナ林、イワカガミ(多分)が多く茂る中をやわらかな秋風と共に歩くのはとても心地よかったです。





寒風で10分ほどの休憩をはさみました。見下ろすとだいぶ上ってきたことがわかります。ススキと琵琶湖のロケーションは素敵でした。

寒風から大谷山への一面のススキ。風に揺られてキラキラしてとても綺麗でした。また少しずつ紅葉がはじまりいろいろな木々の色が混ざり合って可愛らしい模様でした。



大谷山でゆっくりと昼食とおやつタイム、そして班毎と全体の写真撮影。あとは 風がきつい場所であるため形が面白く変形した木々、そしてひきつづき綺麗なブナとたぶんイワカガミのキラキラした葉を眺めながら緩やかな道を下山しました。

コロナ対策、野点無しと異例ではありましたが、はじめから終わりまで丁度良い気候で、怪我人も無く良い山行となりました。皆様に感謝です。有難うございました。 報告：酒井

《登山祭典報告》

ちごゆり山歩会 比良・鳥谷山

10月25日(日) 快晴

参加者 小泉 柴田(2) 高山(2) 田村 布施 目片

会員8名

コースタイム 登山口 9:05 水場小休止 9:42~47 荒川峠小休止 11:30~35 鳥谷山 12:13~12:50(昼食) 荒川峠 13:23 水場 14:40 登山口 15:07

JR志賀駅から車に分乗し登山口へ移動、雲一つないひんやりした冷気の中、体をほぐして出発する。登山口の道標を後に緩やかなほぼ真直ぐな山道を大岩谷に沿って登って行く。しばらく歩くと身体が温まり汗が滲んでくる。小石を積んだ小さなケルンを過ぎると唯一の水場に着く。大岩の下から豊富な水が湧き出て、夫々、冷水に喉を潤し身体を休める。ここから傾斜も急になり雨が降れば谷川になるような溝状のジグザグの登りとなる。杉や檜の植林帯を汗をた

らし喘ぎながら高度を上げていく。時々倒木が道を塞ぎ上を越したり潜ったりしながら通過する。やがて樹層がナラやブナに変わってくると荒川峠への道標が現れ傾斜も緩やかになる。視界も広がり眼下に琵琶湖から湖東の平野部が望まれる。黄色く色づき始めた紅葉が明るく陽に映えて美しい。間もなく荒川峠に着く。展望もなく小休止の後、鳥谷山への最後の登りにかかる。縦走路を南へ進み1、2度急登を繰り返すと視界が開け比良山の主だった山々が望まれ



る。道標に従い最後の急登を登りきると三角点のある鳥谷山に到着する。大きな樹木もなく北の武奈ヶ岳、釈迦岳をはじめ南の打見山、蓬莱山がきれいに見渡せる。風もほとんどなく小春日和の中、色づき始めた紅葉お茶を飲んで歓談して楽しく過ごす。ゆっくり休憩の後、鳥谷山の標示をいれて記念写真を撮り下山にかかる。

汗水たらして登ってきた道を膝に負担をかけないように時々休憩を取りながら登山口へ無事下山する。

写真 高山 報告 目片

## 叫超～正座峰～早谷超

報告：太田

参加者：太田、山本、新美夫妻

8：30 坊村に集合し、車一台で平良の林道に向かう。

2018年11月に、我妻さんと2人で、叫越付近から白倉岳北峰へ歩いているが、その時に登った林道終点から自然林へ続くコースへの取り付きが、松の繁り具合で、入れなくなっていた。仕方なく林道を引き返し、途中2か所から北側の尾根に向かって、急登を試みたが、勾配が増す一方であきらめ、切通しの手前から木の間越しに見える空を目指して、斜面に入り込んだ。僅かどころから来たのかわからない登山道に出くわし、以後はヘアピンの繰り返しを交えながら、叫越の峠まで進むことができた。

叫越には自然石に文字を刻み込んだ道標があり、山行会の道標を見ると、平良、桑原、能家、縦走路2方向の合わせて5差路になっている。

ここから山本さんは登った経験のある桑原への道を下り、他の3名は正座峰へ続く縦走路の一方を進んだ。自然林と植林地の境目を歩く感じ。

正座峰は三角点、リスが逃げて行った。

少し休んで先へ進んだ。全体には下りコースとなるが、頂上で分岐が判りにくい尾根もあり、難しい。ちょっと下ってから間違いに気付くこともあった。

地元の山歩きグループに出会った。こんなところで人に出会うのは初めてとのことだった。ユズリハの群生地を抜けた。

早谷越までの道は歩きやすかったが、峠からの下りは、道が悪かった。トラロープが長く張られていた。滑ると危険なトラバースだった。肩を痛めているのでスリップしたときにロープをしっかり握れるか心配だった

急な所を過ぎると、道路は近かった。山元さんに連絡を取り、自家用車で迎えに来てもらった。大いに助かった。

山本さんが下った桑原への道は倒木のため大変荒れていたとのことである。



## 《登山祭典》

### 太郎坊山～箕作山～舟岡山

日時：2020年10月25日（日） 天候：晴

参加者：会員4名（彷徨2 岳友会2）一般大人1 小学生2 幼児1 計8名

行程：太郎坊駅 8時＝舟岡山（1台駐車）＝太郎坊宮参道脇駐車場 8:20…太郎坊宮…瓦屋寺…太郎坊山 8:50～9時…箕作山 10:15～10:30…小脇山 10:50～12時（昼食）…岩戸山 12:30…登山口 13時…舟岡山 13:30…駐車場 13:50（帰途）

概要：太郎坊駅から舟岡山駐車場に車を置き、もう1台は参道脇の駐車場に駐車。太郎坊宮に続く長い石段を登る。太郎坊宮にお参りし、途中から瓦屋寺に立ち寄る。聖徳太子ゆかりの古刹で庭園や東近江の眺めが良い。紅葉はこれからが見頃ようだ。

登山道に戻って太郎坊山に到着。山頂からは蒲生野が眼下に広がり、その先に雪野山が見える。この先は里山の縦走路で箕作山を経て小脇山で昼食。途中に箕作山城へ向かう分岐が右側にあり小脇山は山城として戦国時代は六角氏の砦があり石垣や土塁、堀切が残っている。尾根の最後の岩戸山は狼煙の山で江戸時代？（米）相場を知らせる役割があり、当時は最速の伝達手段であった。十三仏摩崖仏を通して登山口に着き、少し平地を歩いて万葉碑で有名な舟岡山まで（箕作山山頂）

（太郎坊山から蒲生野と雪野山）  
おだやかな秋の1日を満喫した。  
記録 谷内（彷徨倶楽部）※歩行距離 7.3 km 約5時間30分（昼食・休憩含む）。



【感想】初めての太郎坊山でしたが、立派な瓦屋寺のお寺や推古天皇からの歴史のある場所だと知ることができ、楽しい山行となりました。また、機会があればよろしくお願いします。ありがとうございました。（T橋）



《清掃登山報告》

彷徨倶楽部 「雪野山」

日時：2020年11月8日（日）9時～12時30分

場所：雪野山 天候：晴

参加者：会員2名（彷徨）一般大人1名 小学生2名 幼児1名 計6名

行程：駐車場9時…登山口…雪野山山頂（清掃・  
昼食）9時30分～11時

…妹背の里駐車場12時30分（帰途）

概要：運動場横の駐車場を9時に出発。当日は  
駐車場、登山口および登山道で地元の皆さんが  
清掃活動をされていた。登山口と休憩場所およ  
び頂上付近に弁当や菓子袋などのプラスチック  
ゴミがあったが登山道のゴミは概ね少ない。但  
し、

休憩地点に置かれているゴミ箱やタバコの受皿  
はかなり溜まっていてゴミ収集が定期的にでき  
ているようには思えなかった。

妹背の里の登山口まで下山してゴミを計量す  
る。回収ゴミは0.8kg。全て燃えるゴミで少  
量のため、自宅へ持ち帰り処分した。記録 谷  
内（彷徨倶楽部）



## 秋の清掃登山報告

宮内 眞子

例年6月第一日曜に実施する予定の「第48回清掃登山」が、コロナの影響で中止にしましたが、できることなら秋に実施したいという思いがありました。各会に可能な範囲で協力していただき、「秋の清掃登山」として実施することができました。来年度に向けての課題は残っていますが、実施報告書を協力自治体・企業に送ることができました。次年度「第49回清掃登山」の資料もできました。例年通り、実施自治体からの支援金、協賛企業からの支援もいただき、無事終了することができましたことをここにご報告します。

また、下記の自治体、団体、企業から御協力をいただきました。なお、下表6コース

個々の報告は11月号および12月号に別途掲載いたします

1. 米原市・竜王町
2. 「近江湖南アルプス自然休養林」運営協議会
3. 公益財団法人 滋賀県環境事業公
4. 江若交通株式会社
5. びわ湖バレイ株式会社
6. 帝産湖南交通株式会社

ご協力 ありがとうございます。

2020年 秋の清掃登山(第48回)報告						滋賀県勤労者山岳連盟						
コース		参加者[人]				ゴミ[Kg]						
		会員	会員外	小・幼児	合計	可燃	不燃	缶	びん	ペット	その他	合計
岳山	9/27	7			7	3.1	0.6					3.7
白滝山～ 打見山	9/27	13	5		18	17	4.5	1	2	0.5		25
小女郎峠～ 打見山	9/27	17	2		19	22.1	7.7	3.7	6.1	1.0		40.6
伊吹山	10/4	15	1		16	11.0	3.0	7.5	11.5	0.4		33.4
天狗岩	10/4	15	2		17	5.5	2.0	1.9	1.3	0.3		11.0
雪野山	11/8	2	1	3	6	0.8						0.8
		69	11	3	83	59.5	17.8	14.1	20.9	2.2		114.5

滋賀県勤労者山岳連盟 主催 秋の清掃登山（第48回）

実施日	山域・コース	報告者
9月27日	比良・岳山	ちごゆり 柴田
9月27日	比良。白滝山～打見山	比良雪 西村
9月27日	比良・小女郎峠～打見山	比良雪 近藤
10月4日	伊吹・伊吹山	山友会 北川
10月4日	江湖南アルプス・天狗岩	山友会 宮内
11月8日	竜王町・雪野山	彷徨 谷内

登山道のゴミは非常に少いがシダが生い茂り、下りは水たまり・段差等が見えず歩きにくい。・今回のゴミは以前に解体された岳観音堂跡に残されていた物と林道に1か所不法投棄された物が大半  
 ・道標は新しくなっているが養の河原にもあるとよい  
 ・動物が田畑に進入しないように設置された扉により林道沿いの不法投棄が以前に比べ少なくなった

・このコースは沢沿いが多く、全体的に荒れが目立った。2年前・3年前の台風の影響かと思われる。渡渉を含め難所が数か所あって予想以上に時間を要した。今後このコースは、特に夫婦滝付近～汁谷間は、荒れがひどく清掃登山から除外したい。

相変わらず登山道にごみは少なかったが、駅から登山口までの林道に多かった。時節柄、落ちているマスキが多かった。飴の袋も多く、各自食べた後は注意したい。

台風や鹿による登山道の崩壊が酷い。保護団体の方々の大変な補修作業にも関わらず、鹿の数も増えてきているとか。昼間でも平気で鹿は出没していた。小屋があった5台目のゴミは、相変わらず多い。登山道に何年も前の瓶などが埋まっていた。

登山道のゴミは、少ないか。登山道から投げられたゴミ（ペットボトル）も多かった。天狗岩に登ったハイカーの落下物、風に飛ばされた帽子等が多いの岩を得意とする若い会員が果敢に回収した。まだ沢山あったとの報告。枝を帰るといふ心無い行為があり、残念でした。会員に自然保護を徹底したいと

登山口と休憩場所および頂上付近に弁当や菓子袋などのプラスチックゴミがあったが登山道のゴミは概ね少ない  
 休憩地点に置かれているゴミ箱やタバコの受皿はかなり溜まっていてゴミ収集が定期的にできてきているようには思えなかった。



《山行報告》

ステップアップ比良 比良山系・釣瓶岳

日時 2020年11月14日(土) 快晴

参加者 CL・TN MM (以上・山友会) KH KT (以上・比良雪陵会) 計4名

7:50 近江高島からのバス黒谷着・コースの説明を受けて8:00スタート。標高240m

8:10 黒谷集落の舗装道を10分ほど歩くと獣除けの柵先は林道。緩やかに登りながら沢筋を歩く。

8:20 以前リーダーが通り過ぎてしまったという栗木田谷分岐。なるほど、ここスーッと行きそう。この先もしばらく林道、所々に苔むした石積みの跡がある。昔人の生活力を感じる。

9:00 沢沿いを歩いているうちに標高500m、一度渡った沢を渡り返して、大きな堰堤が見えれば金山谷出会、標高550m。赤いテープ、地面に置かれた真新しい道標。ここからイクワタ峠への尾根に取りつく。

9:40 急登覚悟で登り始めるも、サクサクした落ち葉のジグザグ道は思ったより歩きやすい(のは先頭でないことのゆとり・・・ですね)。標高700あたりで後ろを振り返ると、美しい山並み。右からカラ岳・釈迦岳・ヤケオ山・・・とリーダーに教えてもらい、名前が特定できると、その山への親しみが深くなる気がします。私の場合、知ってるからわかることはあっても、それすら自信をもって特定するには至りません、山座同定・・・その技量は魅力です。

さらに進んでいきます。標高が上がるにつれて傾斜は緩やかになり、同時に倒木が増えて踏み跡は逆に不明瞭になる場所もありますが。方向を大きく間違えなければOK。気持ちよく登り続けて標高800mを超えると平坦な場所に出る、葉の落ちた木々の間から北にドカンと見えるのは蛇谷が峰(山頂に反射板があってすごくわかりやすい・私には嬉しい山です)。この場所がまあ快適でしばらく滞在。

10:40 イクワタ峠。この日初めて登山者と出会う、といっても二人。ここから釣瓶岳へは200mの登り、途中で二度ほど「あれが頂上!」と錯覚しては「あー、まだ先が」と苦笑。

11:20 釣瓶岳着 北風が冷たいので長居せずナガオ尾根へ。

11:25 程よい場所で昼食タイム、この場所から白山の美しい姿が大きく見えました。快適で長居。

12:05 広谷に向けてナガオ尾根を降りる。5つほどピークを越えて先、991のピークには進まず進路を西にとり広谷を目指す。9月半ばではまだ藪だったという広谷への道は、晩秋と晴天が功を奏してリーダー曰く「わかりやすさ、歩きやすさ倍増」だそうです。

13:00 広谷 八雲ヶ原にテントが並び、小さな子供連れの家族も見えて一気に人の気配が増す。

13:40 北比良峠 ここにも老若男女多数。ダケ道でイン谷へ。

15:40 イン谷 16時のバスで比良駅へ向かい、駅にて解散。

今回のルートは季節や天候によってその難易度が大きく変わるようです。この日はより良い条件がそろったので山行を体験できました。地図片手に指導を受けつつ楽しい一日となりました。 記録KT



## 近畿ブロック代表者会報告

■日時 2020年10月21日(水) 19:30～ ■場所 大阪府連事務所

■出席 滋賀(友永)、京都(坪山)、大阪(園)、奈良(水田)、和歌山(山入)、兵庫(吉谷)、全国(野々脇・澤村)、  
会計(豊田)

### ■議題

#### (1)2021年行事予定

##### ①雪崩講習会

公募は行わず、講師の研修のみを実施する。(講師+事務局で合計12名)。1月16、17日に大日岳スキー場の上、山頂付近で講習を実施する。

今年は、受講生がいないので、講習用の動画撮影を行ってはどうかとの提案があった。

雪崩講習会の会計を独立会計にしたい。雪崩講習会の口座があり、受講料などの振り込み入金を行い、近畿ブロックとしては受講料の取り扱いを行っていない。近ブロの行事なので、雪崩講習会については、従来通り、単年度で精算し、近畿ブロックからの支出した分については、余れば戻し不足時は補助するやり方で運用する。

##### ②搬出講習会

多くの会場で、人数制限、他府県からの参加者の制限、接触を伴う行事の禁止などを行っており、従来どおりの講習会の開催はできない。労山としてコロナ禍でどのように対応していくかを考えていく必要がある。講師間で講習用の動画を撮影し、各連盟で活用してもらう。テキストの見直しなどの案が出た。

来年担当の兵庫と奈良と素案を作り、他府県含めて救助隊など搬出の実動メンバーと検討する。打ち合わせ日程について兵庫より連絡する。

#### (2)近畿ブロックの財政について

2019年度は黒字になった。2020年度は、搬出技術講習会が中止のため、支出は打ち合わせ会交通費とテキスト代のみであった。

#### (3)全国連盟からの報告→広域理事 野々脇さん

60周年記念行事への参加要請。

労山の60年、60年史年表は、各連盟に各会分を配布。別途販売分もある。

#### (4)女性委員会からの報告とお願い

大阪労山女性員の川上さんの文書報告の確認。

全国の女性委員会が危機的な状況になっており、女性委員会の委員長、委員が不在の状況。昨年の和歌山での全国女性交流集会でも、近畿ブロックの女性委員会が協力を行ったが、そのことが全国として正しく確認されていない。近畿ブロック、西日本の女性委員会の活動の記録をまとめ、後世につないでいくことを目的に冊子を作りたい。その予算をお願いしたいとの内容。

→全国の女性委員会の問題については、近畿ブロックとして対応が必要であると考え、来年の評議会に向けて近畿ブロックとしての意見を集約していく必要がある。評議会前に近畿ブロックの代表者での意見をまとめるための会議開催することも想定する。

冊子の予算化については、部数、ページ数なども分からない状況なので、現時点では具体的な予算化の議論ができない。DVDに資料を保存しての配布の方法などもある

## (5)各府県連盟の報告

### ①滋賀県連

①理事会をZOOMで開催する試行→8月5日に実施→結果は良好

②事務所が狭く会議が出来ないので廃止の検討をする。

③各会交流登山実施

9月12、27日 比良山系 5会 6コース 参加者 会員55人 会員外7人

④清掃登山 9月27日交流登山と兼ねる 会員30人 会員外7人

10月4日 伊吹山・湖南アルプス 会員30人 会員外3人

11月8日 雪野山

⑤登山を始めたい人の講習会 10月11日に実施 参加者27人

⑥会員勧誘ちらし作成 2500部 山の店・公民館など公共施設・登山口などに配布ほか例会などで配る

⑦登山祭典 10月に行く。日程・場所は各会に一任 5会 5山域 で実施予定

⑧会員数 9月末現在 178名 前年より29名減少

⑨ステップアップ登山講座開講 講習生7人

9月19～22日 10月10～11日 10月31日～11月3日 11月14～15日 実施

⑩11月4日各会代表者会ZOOMとメールで実施予定

議題 救助隊の存続・会員拡大・県連事務所廃止・次年度の活動 など

### ②大阪府連

会議関係:事務所1階会議室の定員を15名としているため、常任理事会、理事会とも事務所参加者とオンライン参加者に分散して開催。専門部会、山の教室なども同様

20年度連盟総会は文書決議で議案採決

山関係 :夏山入山情報交換 84パーティ333人入山

8/8前鬼川で死亡事故。会で事故検証委員会2回開催、2回目から連盟三役3名参加。

事故以降沢登りの入山情報増

救助隊-10/4岩搬出訓練実施、11/7.8 搜索訓練予定(大岩ヶ岳)

障害者登山PT-手話で学ぶ登山入門教室 10/8～座学4回、実技2回で開講

一般対象の学校で、連盟の主催者保険がなくなり開催する事に困惑、保険を再開する事を全国連盟に要望する議論を近プロ代表者会議でお願いしたい。

子どもの冒険学校、夏-裏六甲で沢あそび 秋-甲山ハイキング 10/25

コロナ禍の中での各会の活動は労山ニュースで交流中

その他 :百丈岩広場のトイレ改修カンパ訴えを、理事会で承認受け各会に依頼している。

近プロ各県連でもカンパを願いたい。振込先やぐら管理委員会口座へ

大阪労山50周年を記念し、事故の記録誌編纂作業中。

### ③奈良県連

理事会は、メールでの確認、Web会議を実施、7月より集まったの会議を行っている。

連盟行事 4～5月の連盟としての活動は、実施していない。

・6月27日に運動整理学の講演会を実施、100名の会場で、20名に人数制限された。

・8月23日「ちびっ子遊び隊」(森散歩、木の実や枝でのクラフト、ネイチャゲーム)を実施。

人数を昨年に比べて絞った。子ども 12 人、保護者 9 人(去年はそれぞれ 15 人、13 人)

・9 月 6 日広域搜索訓練を予定するも、雨天中止。

・10 月 4 日 県連交流山行を竜王山で実施。

◎徐々に活動を再開してきているが、新型コロナウイルスの影響で、昨年通りの状態にはなっていない。

#### ④和歌山県連

1.総会 2月29日

コロナ禍で延期→書面表決

2.理事会 9月29日

2020年度前期活動総括と後期活動計画等を協議  
活動計画

1)山行時の新型コロナウイルス感染症対策についての情報を会員に提供する。

2)登山に必要な体力・筋力をつけるトレーニング方法を会員に情報提供する。

3)紀泉山脈が「『葛城修験』一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」として日本遺産に認定された  
ことを受け、地元の山岳会ならではの取り組みを検討する。

4)労山ハムクラブの再編成に向けた取り組みを行う。

3.諸行事

クリーンハイク 6月 7日 中止 会として取り組んだところあり

長距離縦走 11月15日 中止 実行委員会で協議コロナ対策が十分できない

4.諸会議

常任理事会 月1回 5月は中止 参加者5人

事務局長会議 偶数月 参加者毎回5人

5.自然保護

紀泉山脈のメガソーラー計画→楠見地区の計画に対し、和歌山市不許可(7月) 署名御礼

⑤兵庫県連→報告なし

⑥京都府連

主な行事

やまびこクラブ開放日は7月度より再開

青年委員会の読図勉強会

自然保護委員会

自然観察会 於:湖南アルプス 定員超える9/5

北陸新幹線延伸問題で署名活動と学習会(10/14)30名参加。

救助隊 11/16.17 搜索訓練→開催に向けて準備中

冬山連絡会 12月第一金曜日に実施

11/9.10 京都府連盟交流会→中止を決定

教育活動

冬山勉強会は、8月開講。机上はWebを利用。6名で実施中。

5月開講予定の気象勉強会は中止

中断延期している初級登山学校の再開に向けて準備中。

北部冬山勉強会(兼、青年向け冬山勉強会)10月27日開校。机上はWeb会議。数回の実技。

機関会議

4/27より常任理事会 Web 会議で実施する。Cisco webx 利用(1700 円/月)  
現在、半分は市の施設を借りて対面で会議を開催。残りは Web 会議。

その他

山岳医療救助機構の計画編・実践編を準拠実践する

転倒→骨折事故多発。ヒヤリハット事例集作成。報告会を 2 月開催予定。

府連盟のアカウントを利用して、会での Web 会議開催を開始。回/500 円

(6)その他

①労山安全対策基金の申請準備

代表者会議の場で、各連盟代表者が 15 万円+20 万円の申請書に署名を行った。

②百丈岩広場トイレ改修費用カンパのお願い

トイレの修理に 98,208 円かかり修理は依頼している。費用は大阪で立て替えている。

カンパの協力依頼があった。各府連 2 万円の目標でお願いする。振込先は大阪労山やぐら建設委員会へ

③大阪より、「主催者賠償保険」が無くなって、登山学校ではどのような対応を行っているのかとの質問があっ

た。他の連盟でも登山学校等では、主催者賠償保険には入っていない。ココヘリに付属する個人賠償保険  
で対応する等の状況。

〈次回開催〉 日時/2021 年 5 月 12 日(水)19:30～ 場所/大阪府連事務所  
司会 奈良県連 記録 和歌山県連

## ぐうたら会長のつぶやき

今回は少しでもだけつぶやきです。先日缶ビールを飲みながら柿の種の小袋を食べていたら、「こばなしのたね」という豆知識が載っていました。何件か紹介したいと思います。

①名前は違うけど同じもの→お酒のつまみでお馴染みの「するめ」と「あたりめ」。「するめ」を細かく裂いたものが「あたりめ」と勘違いしている人が多いようですが、実はこの二つは同じものです。「するめ」はお金を「する」、すなわち「損をする」と似ているため、縁起をかついで「当たり目」と呼ばれる事があるのです。

②WHISKY? WHISKEY?→最近ではソーダで割ったハイボールが人気のウイスキー。そのウイスキーのアルファベットの綴りには「WHISKY」と「WHISKEY」の 2 種類があります。前者はスコットランド産の「スコッチ」、後者はアイルランド産のお酒を指しているそうです。

③見た目も音も似ているから→私たちが日常的に使っている「T字路」という言葉、これは本来「丁字路=ていじろ」が正しい表記です。アルファベットが日常的に使われるようになり、いつしか「丁」が「T」にとってかわられました。現在でも法律用語では「丁」が使われていますが、一般的にはとちらもOKとされています。



皆さん少し賢くなりましたか？ 私ももっとたくさん缶ビールを飲んで、柿の種をたくさん食べて賢くならなきゃ…。おっと亀田製菓の宣伝になってしまった。

比良の沢、第 18、19 弾です

No473 88-11

シンケ谷(比良の沢) 1988 年7月1日 曇りのち晴

(コースタイム)

北小松 7:55---8:15 雌滝上簡易水道場 8:25---9:20 登山道 9:35---10:15 北小松

(報告) 楊梅の滝で有名な沢です。昨日の雨で水量は非常に多い。雌滝上の鉄の橋から取付く。雄滝の下までは左岸の巻き道に行く。流れ落ちる水の勢いが強く、雄滝の下は風圧が凄い。右岸に渡り巻く。落ち口の下で、もう一つ自信が持てず少し戻り、右岸を大きく巻いて獅子岩の基部に出て落ち口に立つ。ここからは快適な沢登りとなる。水が多く楽しめた。ナメ状の滝がたくさんあった。藪がうるさくなるとすぐに登山道に出た。ここで遡行を打ち切り下山する。まずは半日の軽い沢登りでした。

No474 88-12

新兵エ谷(比良の沢) 1988 年7月8日 薄曇り

(コースタイム)

黒谷 9:00---9:25 栗木田谷出合 9:35---10:35 最後の堰堤 10:40---11:55 二俣---12:35 ガレ場---13:10

縦走路---13:15 釣瓶岳 14:15---14:25 細川越---14:45 広谷 14:55---15:45 大スリバチ---16:40 鹿ヶ瀬道

(報告) 黒谷でバスを降りた。集落を抜け林道を奥へ向う。太陽は薄くベールをかけて蒸し暑い。30 分ほどで出合に着く。林道を行くつもりだったが、初めてなので出合で入渓。すぐに堰堤を越える。2m ほどの小滝を越し、手越谷を右に見送ると、喉のような狭い所に出る。その上に再び堰堤。少し行くと右側がブロックの壁が現れた。平凡な流れを水と戯れながら行く。堰堤の連続となったので右の林道に逃げた。10 時 10 分橋に出た。堰堤はさらに続いていたので、そのまま林道を辿る。土越谷出合を過ぎた辺りより伐採跡となった。林道終点より細い踏み跡を辿り、10 時 35 分に最後の堰堤に着いて休む。ここからが本番。すぐに金山谷出合。少し藪がうるさい。2 段 7m 程の斜瀑を越す。少し行くと 2 段 7m 程の直瀑。左より細い流れが入り、両岸は高い岸壁に守られたゴルジュに出る。10m の滝、3 段 20m の斜瀑、4m の上に再度 10m の滝と気持ち良く越えて行く。ゴルジュ帯を抜けると右から沢が出合う。本谷には 1m の釜を持った小滝がかかっていた。すぐに 10m の直瀑、これは直登出来ずに、右の壁に取り付いたが上で行き詰まり下った。大きく右から巻いて越える。3m ほどの滝がかかる二俣に着く。右俣に入る。5m、5m、3m と滝を越えるとガレとなった。靴に履き替えて藪漕ぎ開始。最近では一番酷い藪漕ぎで、右の尾根に逃げたがここも 50 歩 100 歩だった。急斜面を藪漕ぎして 13 時 10 分登山道に出る。すぐに釣瓶岳山頂に立つ。なかなか面白い沢だった。大休止して出発。細川越より広谷に下る。湿原の中の木道を通り広谷に着く。小休止して大スリバチへ向った。尾根を幾つか巻いて道は続く。ワサビ谷出合で休み、少し下れば大スリバチに着いた。柔らかな白い流れが緩やかに釜に滑り落ちる。後はのんびりと旅行村を経て鹿ヶ瀬道へ向った。日頃のビールの飲み過ぎか、一日中汗が滴り落ちた。

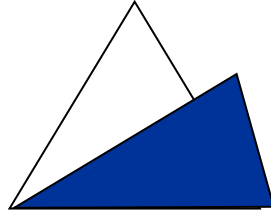
## 行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
	1	雪山基礎講座2021 オリエンテーション		5	総会・忘年登山	ちご
				6	金勝アルプス(鷄冠山～竜王山)	雪稜
				6	体験山行「赤坂山」	山友
	12	忘年登山(CSS 比良・比叡トレイル)		12	忘年登山(CSS 比良・比叡トレイル)	彷徨
	12	ステップアップ比良「ヤケオ山東尾根」				
12				19	京都トレイル(山幸橋)	ちご
				19	ダイトレ(岩湧山)	彷徨
	20	雪山基礎講座(第1回) 福井嶺北・荒島岳		20	忘年山行(武奈ヶ岳)	雪稜
				20	ハイキング部例会	山友
	26-31	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)		26-27	オールラウンド例会「荒島岳テント泊」	山友
				1	初日の出山行「権現山」	山友
				1	初日の出山行「権現山」	雪稜
				3	初詣山行「愛宕山」	山友
				3	新春登山(武奈ヶ岳)	彷徨
	13	理事会				
1	16	ステップアップ比良「ホッケ山」		10	新春山行(武奈ヶ岳)	雪稜
	16-18	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)				
	23-24	雪山基礎講座(第2回) 八ヶ岳・権現岳		23	ダイトレ(槇尾山)	彷徨
	27	理事会				
	28-31	札幌国際深雪スキー(スキーネット)				
				6	鷄冠山～竜王山	彷徨
	7	山スキー教室 奥美濃大日岳(スキーネット)		14	スノーシューハイク(打見山～森山岳)	雪稜
	11-13	雪山基礎講座(第3回) 南アルプス・仙丈ヶ岳				
	13	ステップアップ比良「堂満岳」		17	ミーティング	彷徨
2						
	19-23	北海道スキー三段山・旭岳(スキーネット)				
	27-1	妙高山スキー佐渡山(スキーネット)				

会名略号 山友: 滋賀山友会、岳友: 湖南岳友会、雪稜: 比良雪稜会、ちご: ちごゆり山歩会

シャク: シャクナゲ溯行クラブ、彷徨: 彷徨倶楽部

スキーネット; 山スキーネット滋賀、CSS: クライミング研究会滋賀



2021年1月号の原稿は、12月15日〆切です。  
原稿の投稿先は 古川 [tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp](mailto:tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp) 及び  
渡壁 [painter\\_watakabe@maia.eonet.ne.jp](mailto:painter_watakabe@maia.eonet.ne.jp) まで、  
使用するソフトは原則として Word、Excel、JPEG を  
用紙サイズは **A4**、フォントは本文 **11~12**、タイトル **14~16**、  
余白は上下左右 **19mm**とし、使用する写真は **200KB 以内**としてください。  
皆様のご協力をお願いいたします。

「県連ニュース12月号」 No.521

発行日:2020年11月21日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0836

Email [shigarosan@gmail.com](mailto:shigarosan@gmail.com)

大津市杉浦町 9-30

ゆうちょ銀行 (店名 418)

<http://shigarosan.jimdo.com/>

普通 0239956

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 高玉 敬子

古川 哲郎

渡壁 由美子